

上菅田中 学校だより



第7号 令和4年2月16日発行
校長 林 直美

上菅田中学校学校教育目標

学び合い、支え合い、高め合う

- 学びを深め、創造力と実践力を養う（知）
- 互いを認め、誠実に生きる（徳）
- 豊かな心と健康な体をつくる（体）
- 地域の一員、国際社会の一員として自立する（公・関）

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度も残り40日余りとなりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により神奈川県下ではコロナまん延防止等重点措置が延長され、3月6日までとなりました。学校ではより一層の感染対策を講じながら、教育活動を進めて参ります。ご家庭におかれましてもどうぞ感染防止対策に協力をよろしく願います。学校では生徒や保護者の皆様に協力していただいた学校評価アンケートの結果をふまえ、学校としての自己評価や次年度の改善へ向けた計画作りを進めています。今回の学校だよりでは学校の教育活動の中核となる学習活動と学習評価に関するアンケート結果をご報告します。

【授業はわかりやすく充実したものになっている】

生徒 84.8%（昨年度 81.4%） 保護者 75.3%（昨年度 83.6%）

- ➡ 昨年度よりも数値が増え、評価が高くなりました。今後も生徒の実態に合わせて、よりよい授業改善に力を入れていきます。保護者の方々の理解を得るためには、来年度は授業参観などの授業風景を見ることができるようになりたいです。

【先生は学習で生徒が努力したことを認めてくれる】

生徒 91.2%（昨年度 86.6%） 保護者 84.5%（昨年度 80.8%）

- ➡ 昨年度よりも数値が増え、評価が高くなりました。生徒一人ひとりへの支援を今後も継続していきます。

【教育相談や学習相談は役立っている】

生徒 88.0%（昨年度 82.6%） 保護者 80.4%（昨年度 76.7%）

- ➡ 生徒にとって意味のあるものとなっているようです。今後もこの取組を大事にしていきます。

【わたしは家庭で毎日学習するようにしている】

生徒 71.5%（昨年度 73.2%） 保護者 70.4%（昨年度 71.6%）

- ➡ 昨年度よりも数値が減りました。家庭学習の定着に向けて、各教科で工夫をする必要性があります。

【自由記述欄】（生徒）

- ・もっとクラスルームやロイロノートを学校全体として活用した方がいいと思います。
➡ 教科によって偏りがありますが、より有効に活用したいと思います。
- ・先生同士でいっていることが違い、どちらをやればいいのかわからなくて困ることがあります。➡ 職員同士の情報共有をより細かく行い、より安心できる学校作りを目指します。

【自由記述欄】（保護者）

- ・ChromeBookが導入されたので、もう少し積極的に活用してほしい。体調不良による長期休み、ワクチン接種のための休みなど想定される中、オンライン双方向授業、動画配信授業など、平時からのテストを行い、導入可能な環境整備をお願いしたい。
- ・緊急事態宣言が出ている間、自宅学習のためにパソコンが配られたが、あまり役に立っていないような気がした。学習が遅れないようにもっとパソコンを活用してほしい。第6波までに自宅学習の対策を考えてほしい。
➡ 今年度は試験的に導入したりリモート授業でした。第6波に入りましたが今後の使用について市の方針、学校での使用方法について協議していきたいです。

今月の食育コラムです! 「食で学ぶ 食を学ぶ」 料理研究家 長島 由佳

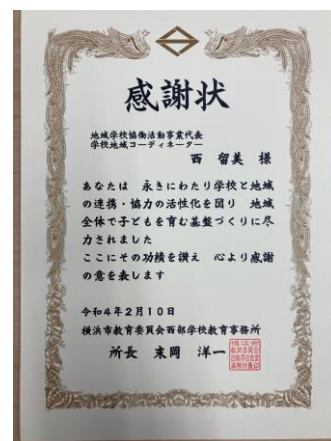
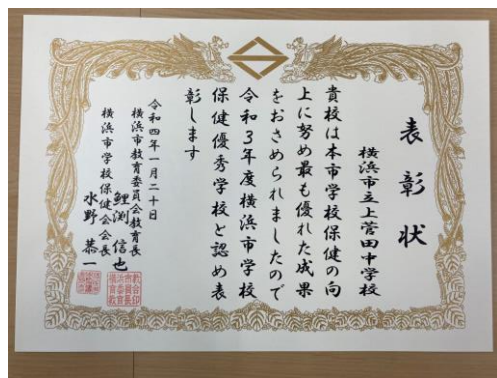
厳しい寒さが続いています、空気は澄んでいます。日々外す時間が少ないマスクの生活では、眼鏡が曇ったり、不織布が唇に触れることで肌が荒れたり、思わぬ状況や症状にみまわれることもあります。花粉症の私は、マスクの絶対的活用で、くしゃみの発生率が抑えられ、以前はどれだけいい加減な対応をしていたのかと、妙な反省をしています。

さて、あたりでは梅の花が咲き始めました。その枝振りを見ると春を告げる鳥である「鶯」のさえずりが聞こえてくるような気がします。

箱根の金時山に向かう登山ルートの一つに、「うぐいす茶屋」という呼称の茶屋があります。その名の通り、初夏～8月初めまでも、鶯の競うようなさえずりが響きわたる場所です。笹藪の中にその姿は見つけれられないのですが、ケキョケキョホーホケキョなどと響いてくるその声はとても力強く、並ならぬ生命力を感じます。雌への求愛や縄張りを守る時の雄の泣き声なのだそうです。

そして、立春の前後より、和菓子屋さんの店頭にも鶯が登場します。そう、うぐいすきな粉を纏った、「うぐいす餅」です。さらしあんを求肥で包み鶯を形どり、青大豆を煎って粉にした美しい早春色のきな粉が振りかけられています。命名は豊臣秀吉と言いつたされていますが、茶道を愛し季節を重んじたことがよく現れています。桜餅や桜道明寺とともに、早春から門出の頃を彩る日本の美しさを醸し出す「季節の風物詩」となっています。

各ご家庭でも、庭先の梅の花を楽しみながら、季節の和菓子を囲むことで、心の豊かさを醸成できる美味しい時間としてみたいはいかがでしょうか。鶯のたくましさ思いを馳せながら、子どもたちの将来が力強いものとなるよう願ってやみません。



第 65 回横浜市学校保健大会があり、本校の取組が学校保健優秀学校として表彰されました。大会は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、開催中止となってしまいましたが、立派な賞状と盾が贈られてきました。皆さんの真面目な取組のおかげです!!

本校の学校地域コーディネーターの西留美さんに西部学校教育事務所より日頃の学校と地域の連携協力に感謝するとして感謝状が贈られました。おめでとうございます。